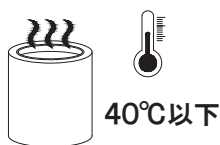


1 モエン標準施工法

1-17 補修塗装

高温保管の禁止



40℃以下

高温での保管は危険です。
40℃以下の場所で保管し
てください。

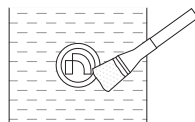
よくかき混ぜること



2分以上

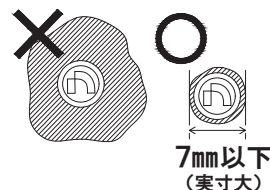
よくかき混ぜずに使用すると
色が合わない場合があります。

釘頭の塗り忘れに注意



金具工法用のモエン用釘
(ベースグレーとベースブラック)を
ご使用の際は、必ず指定の補修液
で釘頭を仕上げてください。

塗り広げに注意

7mm以下
(実寸大)

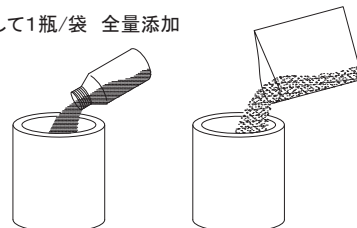
塗布面積はできる限り小さく、特に
釘頭は7mm以内で補修してください。

1) 補修液のご使用方法

手順	作業内容	注意事項
①事前確認	- 補修する面が十分に乾燥していることを確認してください。 - 汚れやほこりが付着している場合は拭き取ってください。	雨天及び外気温5℃以下の場合は作業を避けてください。
②補修液の準備	蓋を開け、付属のかくはん棒で容器の底や側面のかたまりをとるように、<u>2分以上かきまぜ</u>てください。	塗料は<u>うすめず</u>そのままご使用ください。<u>市販のシンナーを混入されま</u>すと塗料が変質し性能が発揮できなくなりますので、絶対に使用しないでください。
③試し塗り	端材に試し塗りをし、乾燥状態の色が蓋の見本と合っていることを確認してください。	複数色セット品は、塗布位置の面材色に合わせて色を選択してください。
④補修作業	- 同梱の専用筆の筆先に塗料を含ませ、缶の縁で余分な塗料を落としてください。 - 補修該当箇所のみ塗布し、<u>必要以上に塗り広げない</u>でください。 <u>透けない程度に薄く塗布</u>してください。 - 作業を中断する場合は蓋をしっかりと閉めて保管し、当日中に作業を完了させてください。	- 釘頭や傷部に<u>極力小さく</u>、面材の柄に合わせて塗布してください。 - 厚塗りになると艶が高くなるおそれがあります。

※「硬化剤」「添加剤」「砂」が同梱された商品は、まず主剤缶を1分以上かきまぜた後、同梱品を全量添加し、さらに2分以上かき混ぜてからご使用ください。添加後は、硬化や色変動が経時で進行しますので、高温を避け短時間(23℃:4時間、35℃:2時間)で作業を完了させてください。

1缶に対して1瓶/袋 全量添加



製品の安全情報について詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。屋内で補修液を使用する場合は、特定化学物質障害予防規則に従って作業してください。